

あとがき

公益社団法人 全国上下水道コンサルタント協会/
中部支部長
(中日本建設コンサルタント株式会社／代表取締役社長)

庄村昌明



今回の能登半島地震では、奥能登を中心に石川県・富山県・新潟県の広範囲で甚大な被害が発生しました。水コン協では本部と支部が一体となり、国・被災自治体・支援自治体等の関係機関と連携を図りながら、上下水道インフラの復旧・復興に取り組んできました。また、水コン協会員の多くの方々には、年度末の繁忙期にもかかわらず、災害支援にご尽力いただきました。これらの活動が進められたことは、国・自治体を始めとする関係機関ならびに水コン協会員の皆様のご理解・ご協力によるものであり、心より深く感謝を申し上げます。

今回の地震被害は上下水道インフラの大切さを広く国民に知ってもらうきっかけとなり、さらに、水コン協の果たすべき役割を再認識し、その責任の重大さを感じることとなりました。この被害状況は日本各地における過疎化による人口減少や高齢化などの課題を浮き彫りにし、今後の我が国における生活インフラのあり方を考える機会になったと思います。

今後、南海トラフ地震や首都直下地震などの大規模地震の発生も懸念されています。また、令和7年1月に埼玉県八潮市で下水道管路の劣化に起因する道路陥没事故も発生しており、国内における上下水道施設の老朽化への対応も進めなければなりません。これらを踏まえ、国では国土強靭化を推進していますが、水コン協としても上下水道システムの“守り人”として、災害への備えに対して一丸となって尽力する所存です。

今回の水坤特別号は、地震被害の单なる記録に留まらず、水コン協の災害時における支援活動を振り返り、次の災害に備えるためのものであり、水コン協会員の皆様に、参考書として活用していただけると思っております。また、上下水道関連の業界で活躍が期待される学生の皆様をはじめ、広く多くの方々にもお取りいただき、やりがいのある“水コンサルタント”を知っていただく機会になれば幸いです。

地震発生から2年近くが経ちますが、未だ復興の途中段階であり、被災された多くの方々には一刻も早い復旧・復興がなされることを祈念いたします。また、水コン協は引き続き支援活動に取り組んでまいりますので、今後ともご指導・ご鞭撻を賜りますようよろしくお願ひいたします。